創世会
松本　均

ラグビーワールドカップ2019に仁藤の大獅子を

Q ラグビーWC（ワールドカップ）エコパ会場のハーフタイムショー等に、仁藤の大獅子を登場させれば、日本文化と掛川祭りを、全世界に紹介するチャンスだと思うが、市長の考えを伺う。

大獅子出演が実現すればPR効果絶大

A 本大会は、メディアへの露出やPR効果が絶大であり、獅子をイメージした公式マスコットと「仁藤の大獅子」が共演となれば、大きな話題にもなると思います。

現状では、大会運営の詳細が明らかになっていませんが、実現できるよう地元関係者や静岡県、組織委員会へ強く働きかけていきます。

交通の利便性を活用した地域の活性化は

Q 県道磐田掛川線（通称：エコパ道路）は、東名掛川インターや掛川駅から比較的近く、利便性が向上していることから、沿線について住宅や商業地への開発等を、民間企業との協働により進める考えがないか伺う。

エコパ道路を活用した都市的土地利用の検討を進める

A 第2次掛川市国土利用計画や掛川市都市計画マスタープランでも、当該地域の立地条件を活かした有効活用について、検討を進めることとしています。各種の規制もありますが、都市的土地利用について、検討を進めます。

県道磐田掛川線

創世会
二村禮一

認知症総合施策の推進は

Q 「認知症初期集中支援チーム」の配置により、症状の早期発見と適切な医療サービスにつながるとのことだが、地域支援体制の強化の考え方を伺う。

高齢者を地域全体で支える体制確保が重要

A 市では、地域で安心して暮らしたいと望んでいる高齢者を、地域全体で支える体制を確保することが重要だと考えています。

そのため、地区福祉協議会、民生委員と地元自治会等との連携のもとで、住民主体で取り組んでいる「ふれあい・いきいきサロン」や日々安心・安全に暮らせる「見守りネットワーク」の体制づくりを支援していきます。

掛川版エンディングノートを活用するための取り組みは

Q 終末期の医療をめぐっては、患者本人の意思が分からず家族が悩んだり、現場対応に苦慮したりするケースが多い。県内の自治体として初めて作成した「私の健康人生設計ノート（掛川版エンディングノート）」の周知と活用について伺う。

今後も出前講座等でノート活用を促す

A 「私の健康人生設計ノート」は、平成29年4月より希望者に配布をはじめ、現在まで約1万6千部配布しています。今後も、記入方法に関する出前講座を行い、ノートの活用促進を図ります。

掛川版エンディングノート